



歴代オリンピック開催国の食事



近代オリンピックの第1回大会は 1896 年の春、ギリシャのアテネで行なわれました。今回は、第1回大会が行われたギリシャの料理を病院の治療食としてアレンジしました。



外務省ホームページより

オリンピック発祥の地 ギリシャ



【ギリシャってどんな国?】(参考:外務省・農林水産省 HP、世界遺産オンラインガイド)

バルカン半島南端に位置する共和国で首都はアテネ。面積は 131,957 平方キロメートル(日本の約 3 分の 1)、人口は約 1,081 万人。首都アテネの人口は約 300 万人です。

主要農産物は、オリーブ(生産量世界第 3 位 2012 年)、オリーブオイル(輸出額世界第 3 位 2012 年)、その他トマト、ぶどう等。

ギリシャには、アテネのアクロポリスなど、18 の世界遺産があります。

【オリンピックの誕生】(参考:日本オリンピック委員会 HP)

1896 年に始まった近代オリンピック。その前身となったのは古代ギリシアで行われていた「オリンピア祭典競技」、いわゆる古代オリンピックです。全能の神ゼウスをはじめ多くの神々を崇めるための、神域における体育や芸術の競技祭だったとされています。

【第 1 回アテネ大会 1896 年】(参考:日本オリンピック委員会 HP)

陸上、水泳、テニス、体操(ウエイトリフティングを含む)、レスリング、自転車、フェンシング、射撃の 8 競技、43 種目が実施され、14 カ国から 241 選手が参加しました。第 1 回は女性選手の参加はなく、男子のみの大会でした。世界初の「マラソン」では、ギリシャの羊飼いきリドニスルイスが優勝し、大観衆を熱狂させました。

【第 28 回アテネ大会 2004 年】(参考:日本オリンピック委員会 HP)

28 競技、301 種目が実施され、参加国数 202、参加選手数は 10,625 人でした。日本からは、312 人の選手が参加し、金メダル 16 個、銀メダル 9 個、銅メダル 12 個を獲得しました。室伏選手(男子ハンマー投げ)、野口選手(女子マラソン)、北島選手(男子 100m、200m 平泳ぎ)、柴田選手(女子 800m 自由形)、柔道では野村選手(男子 3 連覇)、谷選手(女子 2 連覇)など 8 個、男子体操団体、吉田選手(女子レスリング)、伊調選手(女子レスリング)が金メダルを獲得しました。

【ギリシャの料理】(参考:世界の料理情報サイト e-food.jp 農林水産省 HP)

ギリシャ料理は、2010 年にイタリア料理、スペイン料理、モロッコ料理とともに、「地中海料理」として、ユネスコ無形文化遺産に登録されました。

スブラキ(肉の炭火焼き)、ムサカ(なすとひき肉、ホワイトソースなどの重ね焼き)、フェタチーズ(山羊の乳のチーズ)をのせたサラダークサラダ)、タラモサラダなどがあります。



【本日の料理】

本日は、ギリシャ料理の中から、ムサカとグreekサラダをアレンジしてお届けします。オリンピック発祥の地ギリシャの味をどうぞお召し上がりください。(お食事の種類により一部献立が異なる場合があります)